令和4年度 大垣市指定管理者評価委員会　会議録

日　時：令和４年８月23日（火）午前９時25分から午後３時25分まで
場　所：大垣市役所　３階　会議室3-4、3-5
議　題：令和３年度　指定管理業務の総合評価について

出席者（敬称略）
（委員）原田　理人＜委員長＞
　　市來　圭、藤井　えりの
（市及び事務局）
【施設所管部局長等】
企画部
藤　千昭（部長）、後藤　威博（情報企画課長）、
中島　茂樹（情報企画課デジタル推進対策官）
市民活動部
中川　智臣（まちづくり推進課長）、小林　晋（市民活動推進課長）
健康福祉部
三浦　健二（部長）、篠田　浩（社会福祉課長）、
大澤　一弘（障がい福祉課長）、平松　茂（高齢福祉課長）
こども未来部
早崎　広俊（部長）、浅井　靖弘（子育て支援課長）
経済部
守屋　明彦（部長）、清水　克人（商工観光課長）、浅野　誠（農林課長）
都市計画部
真鍋　和生（部長）、廣瀬　勝典（公園みどり課長）
教育委員会事務局
林　昭義（社会教育スポーツ課長）、宮内　幸三（文化振興課長）
【事務局】
岩﨑　義博（総務部長）、安田　佳樹（行政管理課長）、
加藤　重徳（行政管理課主幹）、後藤　澄光（行政管理課主任）
欠席者（敬称略）　（委員）菅田　文子

事務局	※　開会について ＜会議冒頭あいさつ＞ ※　会議の議事進行を委員長へ依頼。
委員長	※　設置要綱第5条第5項に基づき、公開することにより審議・協議等の適切な実施に支障をきたすと認められる情報を含むことから、非公開での開催を宣言。

	※　会議録署名者として、市來委員を指名。 ※　令和3年度指定管理施設の状況報告及び指定管理業務の総合評価（案）についての説明を要請。
事務局	※　本日の流れ及び資料について説明。
委員長	・ただいまの説明について、何かご質問ご意見等がありましたらご発言ください。
委　員	・評価の内容について、前年度はコロナ禍で非常に厳しい状況だったということで、2年度をまたいでいますが令和2年度の状況を踏まえてどのようにその状況の改善に努めたのかという点を、一つまずは評価の基準にするべきだと思います。 ・もう一つは、このコロナ禍の状況が続くことを想定されているわけですが、その場合の事業や収入確保にいかに努めたのか、またその成果についてもきちんと評価をする必要があると思います。 ・BCPについては、例えばパーテーションやアルコールを置くまたは事業を止めてしまうなど、以前から話しておりますが、その理解が何かあったときの対応しか出てこなかったというのが正直なところです。ですから、事業に全く変化がないっていうことに関してはお聞きする必要あるかと思います。 ・以上、これらの評価を入れていただけるといいかと思います。 ※　議題1　令和3年度　指定管理業務の総合評価について ＜市民活動部＞※　市民活動部長は他の公務のため欠席
委員長	・まちづくり推進課所管施設のBCPへの取り組みやコロナ収束を見据えた事業展開について報告を要請。
所管課長	※　所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。
委　員	・地区センターでの活動は、住民相互の支え合いという観点においても、行政が把握しにくい住民ニーズの把握という、大変重要な活動かと思います。ニーズ自体が拡大していると思いますが、一方でコロナ禍のため会合などがしにくいという状況において、何か行政側として評価している先進的な取り組みはありますか。

所管課長	・青墓地区センターにつきましては、SNSやホームページ等で様々な情報を発信しております。また、利用者等から飲み物が欲しいが周辺に自販機がない地区センターでは、交渉して設置した施設もあります。その他にも、利用者の要望を踏まえ環境整備を積極的に行っています。利用者が少ないかもしれませんが、様々な意見を聞きながら対応しております。
委　員	・こども食堂に関しては、特定の地区で今行われているということですか。
所管課長	・はい。こども食堂は複数の団体が地区センターを利用して行われていますが、私どもとしては地域が子供たちを育てるという環境を作ってほしいということで、できれば地区センター運営委員会等が中心に行ってほしいと思っております。赤坂東地区センターで「こども食堂ワイワイ学習塾」という形で昨年度から検討し、この5月より実施をしております。コロナの状況を見ながらになりますが、他の地区センターもそれを見習い、他の団体が外から来て実施するのではなく地域がこども食堂を行ってほしいと思っております。
委　員	・子育ての部局にお聞きすることかとは思いますが、こども食堂の拡充に向けて支援する方針があるということですか。
所管課長	・はい。今年度から、子育て支援課でこども食堂運営補助金を新たに設けております。地域で地区センターを拠点とした活動ができれば一番理想だと思いますので、要請があれば紹介するなど、支援をしていきたいと思っております。
委　員	・BCP、業務継続計画への取り組みというところで、全てのセンター統一で館長以外の代行職員が対応できるよう周知徹底したとの報告はありますが、実際にそういう事案はありましたか。
所管課長	・幸いにもそういった事案はありませんでしたが、コロナ感染に限らず、全ての施設で館長以外の職員が判断し、随時対応しております。
委　員	・実践まで含めて取り組んでいるという評価でよろしいですか。
所管課長	・はい。
委　員	・コロナ終息後を見据えた事業展開のところで、報告書の書き方の違いかもしれませんが、たくさん報告しているセンターもあればあっさりしたセンターもあります。例えば南地区センターはすごくたくさん記載されていま

	すが、これはそれだけ取り組みが盛んという理解でよろしいですか。
所管課長	・報告書に記載されているから取り組みが盛んであるのではなく、館長の記入の仕方によっても異なります。実際には、館長会議で取り組み内容など意見交換をしてもらいながら取り組みをするようお願いしております。
委　員	・ほかのセンターもそれぞれ取り組みは進んでいるということですか。
所管課長	・はい、取り組んでおります。
委　員	・先ほどの子供食堂のこともありますが、他のセンターにも特徴的な取り組みを広げていってもらえればと思います。
所管課長	・はい。こども食堂については、他の団体が入って取り組んでいるとこもありますが、全く手付かずのところもありますので、できれば地域の方々と一緒になって育ててもらいたいとの思いがあります。
委　員	・やり方はいろいろあると思います。センターが主になる方法もあるし、他の団体が自主的に取り組むのもあると思います。
所管課長	・地区社協を巻き込むなど、地域の方々がそれぞれの地域のニーズに沿った対応をしていただけると一番良いと思います。
委　員	・非常によく頑張っていらっしゃるという印象を受けています。いわゆる経営的な視点をきちんと持って進めるようになったと判断をしています。 ・実際に事業収支を見ると、西地区センターにおいてネスカフェアンバサダーを入れて100円コーヒーの利用を促したというのがありました。これは一般的にはこの程度のこと、というような判断をするかもしれませんが、実はこういう一つ進むことが大事で、収入の増に努めているというのがよくわかり非常に素晴らしいと思っています。 ・また、収入が減るということは皆さんよくわかっていることで、それでありながら、収入増加は厳しいけれどもコスト管理を徹底し、なんとかプラスにしたというようなコメントがいくつか見られます。これも非常に経営的な視点を持って運営をしているということがよくわかります。 ・特に、収支が1,000円の黒字となっていた施設があったと思います。これも一般的には1,000円程度と思うかもしれませんが、このような一つ一つの意識が非常に重要だと思っています。 ・このような点からすると、全体の管理が非常に適正に進められているということがよく理解できます。

	・当該部局として収支の管理の仕方や日常的な管理の仕方について、何か具体的に指示されたことはありますか。
所管課長	・収支を含めた毎月の報告を受けており、あまりにも収入が落ちた場合などは、資金繰りのため一部の工事の先送りなどしています。
委　員	・細かい配慮があるのだろうというのが、収支を見てもよく理解できます。また、自主事業のあり方や経費の管理の仕方など、過去と比較し非常によくできていると思います。経営視点的なマネジメントは非常に効果を上げていると判断をしています。 ・繰越金について、予算で想定されていて決算では斜線となっているのはなぜですか。
所管課長	・繰越金については、計上しているところとしていないところがあり、別会計として運用している場合もあります
事務局	・去年のものから実績表の様式を変更しており、指定管理業務と自主事業を必ず分けることによって、指定管理業務の収支及び自主事業の収支が見えるようにしました。 ・ご指摘の予算については、繰越金を含んで予算化をしておりますので、収支は0になっております。一方、決算については単年度収支を見るために斜線計上にして、実際の決算には繰越金が存在します。
委　員	・この分マイナスになっている可能性がありますよね。
事務局	・去年の繰越金額をそのまま繰越してきますので、予算上の金額と決算上の金額は、ほぼ一緒であると認識をしていただければ大丈夫です。
委　員	・この収支の記載ですと、繰越金が0となっているところと斜線になっているところがありますが、違いはないということですか。
事務局	・はい、ありません。単年度収支だけを見て表を作成しておりますので、例えば東地区センターを見ていただくと、指定管理事業は予算上マイナス15,000円、自主事業を合わせますと全体収支は0となります。これに対し実際の決算は、繰越金の42,000円あることになりますので、全体収支の50,000円プラス42,000円の収入があったということで、次年度の繰越金は92,000円になる予定です。
委　員	・これはそのまま繰越すということですか。

事務局	・はい。
委　員	・今後については、そのままご尽力いただき、総合計画というか市の全体の計画に沿った運営が実現できるよう、ご指導いただければと思います。
委　員	・政策効果や財源の節減という点でも、行政だけでなく住民が相互に支え合っていくということが、今後国が示している地域共生社会の方向性でもありますし自治体現場でも必要だということで、あちこちでそういった取り組みが進められているかと思います。そのような先進的な取り組みに関して、館長の方が学ぶような機会というのはあるのでしょうか。
所管課長	・コロナ禍前は館長会での研修視察がありましたが、現在は中止しております。今後、様子を見ながらまた再開していきたいとは思っておりますし、館長からもやりたいという声があります。
委　員	・対面でのものが空気感とかも感じられるのでベストかとは思いますが、オンラインのミーティングや講座なども検討するとさらにいいのではないかと思います。
委員長	・市民活動推進課所管施設のBCPへの取り組みやコロナ収束を見据えた事業展開について報告を要請。
所管課長	※　所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。
委　員	・会議室の利用料の見直しを行い、収入増を図ったとあります。このことを直接指しているのかわかりませんが、レンタルスペース代が高いというアンケート結果があり、それに対し一般的な相場という回答でした。これまで一般的な相場より低くしていた理由がなにかあるのですか。
所管課長	・利用料金の見直しとレンタルスペースについては別の話です。 ・レンタルスペースについては、活動のたびに大きい用具を自宅から施設まで運ぶのが非常に負担という声を受けまして、自主事業により始めたサービスです。相場を見ながら価格設定をしておられます。 ・利用料金の方については、条例改正を行いました。改正前は通常料金と、入場料を取る場合は2倍の料金設定ができるようにしていましたが、改正により物販の場合は通常の5倍の利用料金を徴収できるようにしました。実際に施設で利用料金を徴収する場合は、市の条例で定める範囲で指定管理者が市の承認を受けて定めることになっております。条例改正後3ヶ月

	ほど、指定管理者の方から対象となる事業者に丁寧な説明を行い、ご納得いただいた上で料金改定の届け出がされ承認しました。
委　員	・会議室の利用料金の見直しであって、レンタルスペースの話は別ですね。レンタルスペースも見直されたのですか。
所管課長	・レンタルスペースの料金は見直しておりません。見直したのは、貸室の利用料金になります。
事務局	・健康食品の展示販売で使用していたため、本来の目的でたくさん使用してもらうという論点から、条例改正を行いました。
所管課長	・それについては、事前にご説明して納得いただいてから運用を変えましたので、苦情等はありませんでした。
所管課長	・レンタルスペースについては、荷物を持ってくるのも負担なので無償で置いて欲しいという想いもあるかとは思いますが、一部の利用者だけ特別に置いておくとは言えませんので、一律の条件を設けました。その中で値段設定が高いという見方もあったのかと思います。
所管課長	・コロナ禍での貸館の中止や団体自体の活動自粛などがあり、活動できないが置いてあるという状況がありました。置いてある限りは料金が発生しますので、そういったところでもご不満があったのではないかと思います。
委　員	・物品販売の方で料金を上げられるのは至極妥当だと思います。民間のスペースを借りるよりもきっと安いでのしょう。そういう方に利用してもらい収入に繋がっているということですね。
所管課長	・5倍にしても非常に安価な料金設定です。
委　員	・目的にそぐわないから貸さないというわけではないのですか。
事務局	・そぐわなければもちろん貸しません。貸さないときも出てきます。
所管課長	・条例で定めた不許可の条件に該当する場合は断りますが、基本的には本来の目的や、営利目的であれば割増した利用料金を支払ってもらうことで、使っていただくことができるようになっております。 ・しかしながら、イベントハウスについては今まで割増の規定がありませんでしたので、昨年度条例改正を行い新たに設けました。本来であれば最初

	からあってもおかしくなかったのですが、営利目的の利用者の増加が想定以上でしたので改正を行ったという背景です。
委　員	・BCPへの取り組みについて、計画を立てて準備した中でそれを実際に発動しないといけない状況は何かありましたか。
所管課長	・感染拡大時に最優先する業務は施設の受付や電話対応等になりますので、それ以外の在宅でもできる業務は在宅で行い、受付対応業務などは最低限の人数でやっていると聞いています。
委　員	・収支について、前年度からの繰越が予算にもないということは、元々なかったということですか。
所管課長	・はい、昨年度はありません。
委　員	・非常に上手く経営をされているという印象です。きちんと管理するということは、こういうことだということがよくわかります。 ・料金改定について、おそらくこういうことがBCPだと思います。パーテーションやアルコールを揃えることを積極的にお話される方はいらっしゃいますが、そうではなく、BCPの場合は最も売り上げのある部分は何なのか、またはその売り上げに一番貢献する部分はどういうファクターなのかということを想定し、そこに対しての手当をしなければいけないということが通常あるわけです。その点からすれば、こういう努力をされて経営改善を進めていることは、非常に素晴らしいと思います。 ・先ほどのセンターに加えて皆さんがこういう形でやっていただくと、何の問題もなく進むのだろうな、という印象があるぐらい模範的な内容だと私は思いました。
委員長	＜教育委員会事務局＞※　教育委員会事務局長は他の公務のため欠席 ・社会教育スポーツ課所管施設のBCPへの取り組みやコロナ収束を見据えた事業展開について報告を要請。
所管課長	※　所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。
委　員	・青年の家について、BCPへの取り組みのところで緊急時の動員体制の確認と見直しを行ったとありますが、具体的にBCP計画などは立てているのか、あるいは実践する場合はどのようになっているのかを教えて下さい。 ・自主事業のうちいくつかは感染対策としてオンラインで実施したという記載がありますが、具体的にどの事業をどのように実施されたのでしょう

	か。また、それを今後どのように展開していく計画なのでしょうか。
所管課長	・業務継続計画のマニュアルがあり、コロナ感染時・災害時含めた連絡体制など、そういった体制を整えております。実践や訓練等の実施の有無については確認をとっておりません。
委　員	・実際にコロナ感染などが起きたことはないということですか。
所管課長	・はい。体温チェックや手指消毒とか徹底しておりますので、感染が起きたというのはありません。 ・自主事業についてですが、「れくりょくUP講座」というのがあり、7月14日開催の「ボトルキャップであれやこれ！」や「音楽レク」については、Zoomと対面を併用して実施しました。また、1月19日開催の「SDGs勉強会」はZoomで実施しました。 ・レクリエーションが中心ですので実際は体を動かすこと中心になりますが、今後勉強会的な講座等はZoomなどを活用しながらの実施を考えております。
委　員	・体を動かす動画が流行っていたりしたのかなという感想もありますが、そういう取り組みは特になかったということですね。
所管課長	・はい。
委　員	・収支において、予算時から赤字を計上しているところがありますが、何か特別な要因があったということですか。
所管課長	・人件費が毎年増加している中で、指定管理料自体は5年間で積算されていますので、人件費は増えているが指定管理料は変わらないという状況が要因の一つかと思います。また、全体的に利用料金が減ってきているのも要因かと思います。
委　員	・指定管理者の大垣市体育連盟が赤字分を補てんしているということですか。
所管課長	・はい。体育連盟の方で収入を確保しております。
委　員	・青年の家について、施設利用アンケートにいくつかすぐに改善できるのではないかと思う項目があるように思います。例えばサークルの団員募集や予約システムの改善、駐車場利用の改善などです。こちらの意見が全てと

	は言えませんが、具体的に何か取り組まれる予定はありますか。
所管課長	・予約については、申請書の提出と利用料金の支払いがありますので、前もって一度足を運んでいただく必要があり、ネット予約にはできていないという現状です。ご意見いただきました通り、ネット予約できるような方策を考えていきたいと思います。
委　員	・サークル紹介も、施設側としては紹介しているつもりだけれども、届いていないこともあるかと思います。利用者の年齢層が広そうなので、広報の媒体を多様化することで少し改善されるのではないかと思います。 ・大垣城ホールにおいて、老朽化のため早期修繕対応の要望が出ております。また、点検でも施設の改修の必要性のことが書かれていますが、見通しについて教えていただけますか。
所管課長	・大垣城ホールについては、庁舎内で大垣公園を含めた全体で基本構想を検討しており、具体的な年次は未定ですが、それに基づいて整備していく予定です。
事務局	・大垣城ホールは教育施設という位置づけにしております。こうした中で去年、大垣城ホールは耐震的にもたないため早期改築をするという方針を大垣市として出しております。 ・新聞等に出ておりますように、まず教育施設という考え方で建て替えの場所などを教育委員会事務局で検討しました。 ・そののち、今度は大垣公園に隣接した場所という、公園の観点から考えるべきという様々な方からのご意見を頂戴する中で、現在は都市計画部の方で検討しています。 ・それを両方合わせて、今後公園整備という観点も入れた、新しい方向性を市民の皆様にお見せできると考えております。
委　員	・具体的な年次がまだということですが、それまでの期間のリスクに関してはどうですか。
事務局	・市としてリスクがあることは認識をしております。スポーツ施設を建て替えるということであれば、3年後には建て替えるべきだという意見もありました。しかし、先ほどの大垣城公園のこともありますので、今検討している中で、3年後に実施する計画とするのか、または前後するのかということは、今後、大垣市全体として決定していく予定です。
委　員	・それまでは最小限の費用で対応していくということですか。

所管課長	・はい。
事務局	・公園に隣接している施設という機能もあります。例えば、選挙における開票場所や、大垣マラソンの出発地、中心市街地のイベントでも利用しています。このように多くの機能がありますので、スポーツ施設の面以外の部分も考えなければいけませんし、公園に隣接しているのがメリットだということを、大垣市が今後しっかり考えていくべきだということで、検討している段階にあります。
委　員	・青年の家についてですが、自主事業などについて改善のゆとりがまだかなりあるのではないかと思って見ています。前年度も、コロナ対策で大変だったと思いますが、前年度からどのような改善がなされましたか。
所管課長	・宿泊を伴う事業は日帰りにするなど変更し、また体操等のYouTubeでの配信、講座をZoomやオンラインで実施するなどしております。今後は、PR等の情報発信をしていかなければと思っています。
委　員	・当該部局として指定管理者を管理していくことが非常に重要だと思います。漏れ聞こえてくるにNPO団体ということで、収益性を上げるということに対して熱意や価値観をあまり持ってないように感じます。しかし、財政というのは限られた中で対応しなければいけませんので、収益性をある程度求めていただき、指定管理料を削減していくというのが、本来の我々の趣旨かと思っております。そう考えますと、青年の家は非常に収益性を確保しやすい環境にあると考えています。 ・また、人が人にサービスをするということに関しては、原価が非常に理解しやすいということがあります。専従の職員がいるということで、組織自体をあまり脆弱な状態にしておくのは望ましくないと思います。ですからコロナ禍であっても、貪欲に新しい時代を創っていくぐらいのエネルギーが欲しいと思います。今まで決められたことだけをやり、コロナのため施設を止めても市からお金が出るから大丈夫、という様なカルチャーを払拭してもらいたいと思います。 ・そのためには、マーケットの拡大と業容の拡大という2点を求めたいと思います。業容というのは、今までの高齢者が対象、子供が対象ということだけではなく、自分たちの持つリソースを、例えば企業や学校に使っていくなど様々な方面で活用できるのではないかと思います。そこをきちんと考えて努力をしていくことが必要だろうというのが正直な感想です。 ・青年の家に関しては、おそらく前年度も同じようなことを言ったと思いますので、それが2年繰り返されるということは、コロナというものはしょ

	うがない、これは避けようがない、ということで1年過ごされたという様にしか判断できないということになります。 ・先ほど本当に素晴らしいと思ったのは、条例改正まで行いビジネスモデルを変えて収益性を上げたという事例がありました。素晴らしいと思います。もう少し強く出ていただき、レクリエーション協会の意識改革も必要かと思います。 ・赤字予算についてですが、総合体育館は一般的に非常に収益性を求めるには優れている機能があると思っています。そのため、予算の段階でなぜ赤字となるのか詰めていく必要があると思います。少なくとも公共施設ですので、収支均衡の原則までは寄せていく努力と黒字にするための指定管理者の努力、これらが合わさってなんとかするという話かと思っています。収益が上がらないならば、事業自体の内容にまだ不足があるのかもしれませんし、例えば稼働率がもし4、5割ということであれば当然改善の余地がありますので、そこを埋めるだけの事業または自主事業を実施していくことが必要だと思います。また、夜間でも空いているような状況であれば、活用できるアイテムを増やしていくことも必要かと思います。これにより収支均衡の予算にしてもらえるといいと思います。 ・指定管理料というのは、管理運営していく際に必要な部分と市の総合計画に沿った方針を進めていくための事業を委託して払うということで、本当ならばその時点で収支均衡になっているべきだと思います。それが合わないとするならば、基本的な構造自体を見直す必要があるような気がします。ここ3年ほど社会教育関連施設は非常にうまく改善されてきて、成果が高かったという印象ですので、あとは本当にちょっとしたことの改善によって劇的に変わるのではないかという印象を持っております。 ・全国的にもスポーツ関連施設や社会教育施設は教育委員会の管轄にならざるを得ない中で、そもそも論になってしまう可能性がありますが、教育委員会に金を稼げというのかという話になります。しかしながら、収益性を上げなければいけないというのは財政上避けて通れない話です。スポーツ庁ができたのも、お金を稼ぐ国交省と文科省の横串を刺すためという背景がありますので、そろそろお金を稼ぐということに関して、他の部局との関連もうまく作っていきながら検討した方がいいのではないかと思いました。大垣市はまだ一切着手していないということなので、まだまだ可能性があると思います。そこについて、妥協せずに進めていければいいのではないかとの印象を持っています。
委員長	・文化振興課所管施設のBCPへの取り組みやコロナ収束を見据えた事業展開について報告を要請。
所管課長	※　所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。

委　員	・BCPについては計画も策定されて、いろんな対策もされていると思いますが、実際にコロナの感染等で実践をした事案は発生したでしょうか。
所管課長	・少人数の方が罹患したことはありましたが、計画に沿った形での実施はありませんでした。
委　員	・事業報告書にある予算決算について、市民会館・スイトピアセンターいずれも指定管理業務に関する事業収支は0という予算になっておりますが、別紙決算一覧表では予算の段階でイトピアセンターはマイナス7,456,000円、市民会館がマイナス542,000円にいますので、その理由を教えてください。
事務局	・スイトピアセンターの収支ですが、事業収支実績の表の収入のところ、文化事業団自己財源7,456,000円で予算上は賄っているということです。
委　員	・先ほどの体育連盟は自己財源が入っておらずマイナス予算だったのが、ここは自己財源を含めて予算収支を0とし、そして実際には持ち出しはなかったということですね。
事務局	・自主事業を含めた単年度収支のマイナスを、繰越金を含めた自己財源で賄ったという実態です。
委　員	・コロナ補償の有無の検討は所管課でするのですか。
事務局	・指定管理施設の統括をしている行政管理課で、どういうルールで補填をするか、補填をするかしないかも含めて、財政課とも協議をして決めました。
委　員	・所管課の方では自己財源で賄うことに関して、特に当初の予算の段階で話し合いがあったりしましたか。
所管課長	・当初はいろんな事業について自己財源で賄うというような趣旨で入れたと聞いております。
事務局	・難しいところかと思います。例えば、駐車場収入が本来24,800,000円入ってこなければいけないところが、11,299,000円と、13,571,000円減っています。この部分については補てん対象ですが、満額補てんするのではなく歳出で発生しなかった経費を差し引いて算出しております。

委　員	・市民会館に関して、基本的にワクチン接種に年間を通じて使われたということですが、コロナ収束後を見据えた事業展開について、もう少しご説明いただけますか。
所管課長	・市民会館につきましては、基本的に貸館とホールの貸し出しになります。事業団として何か事業をやるということではありません。まずそういう前提がございます。 ・そのため、施設についてアピールということで、こういったことを施設で実施していますのでご利用ください、という形でやっております。また、今年度につきましても、利用環境を良くするため施設備品の整備等に努めていきたいと考えています。その他、ホームページ等で繋がるような周知をしていきたいと考えております。 ・なお、コロナ対策室につきましては今年度も引き続き利用している部分がありますので、そちらと併用しながらやっていくという形です。
委　員	・コロナのため、しばらく貸館業務もされない中で利用者離れが起きると思います。それについての対応が収束を見据えた事業展開の方では見られないので、何かあれば教えてください。
所管課長	・ワクチンで使っているから使えないのではないか、という思いがあると思いますので、周知をしっかりやっていこうと考えております。
委　員	・ワクチン対策室の利用についてですが、これは自治体から使用料が払われているということでよろしいですね。
事務局	・はい。
委　員	・それが売り上げの多くを占めていると思われますが、それがなくなったとき何もなくなってしまうのではないか、との懸念から先ほどのお話が出たのだと思います。今後について何か対策や計画など指導されていますか。
所管課長	・具体的に何かしている、というのはございません。
委　員	・市民会館の建物の存続に関しては、しばらくは大丈夫ということですか。
所管課長	・市民会館につきましては、確定ではありませんが令和5年度末をもって廃止という方針が出ております。
事務局	・教育委員会事務局としては、先ほど挙がりました大垣城ホールに市民会館

	の機能を持たせることで市民会館は廃止するという方向性を、1年ほど前に出しております。
委　員	・維持管理業務実績の中に修繕や保守など多くの実績がありますが、全部コストに反映しているということですか。それとも自治体側の持ち出しでやっているということですか。
所管課長	・指定管理者で行うべき金額というのが決まっておりますので、そちらはやってもらい超えた部分は市の方で実施するという形になっております。
事務局	・報告書に書いてある項目は、すべて指定管理者側で実施したものになります。
委　員	・結構なボリュームですので大きな金額になりそうですが、支出項目としては何のお金に入っていますか。
事務局	・小規模修繕と書いてあるのは修繕費の中に入っております。保守点検等につきましては委託費に入っております。
委　員	・両施設ともすごいボリュームですが、毎年ルーチンで実施している感じなのでしょうか。
所管課長	・施設としてだいぶ年数がたっておりますので、細かいところで修繕が必要となっております。
委　員	・法的に必要なもの以外について、必要性の精査はされていますか。
所管課長	・精査はしております。予算に限りがありますので、修繕箇所を考えまして安全に関わることについては基本的に優先し、その他で先に送れるものがあれば送る、というような形でやっております。
委　員	・ファシリティマネジメントっていう視点から言うと、長期的な計画でやっていかないと大きなお金がずっと出続ける可能性があるのではないかと思います。
事務局	・公共施設総合管理計画では、全て建て替えではなく長寿命化を図っていく、直せるものは直して長いスパンで使っていく、という方針です。その中で、市発注工事として学習館では数億円をかけて空調を直しました。文化会館についても数年前に直しました。

	・様々な話し合いの中で、修繕費が多く掛かるなら直した方が安いのではないかなど、連携や協議はしております。 ・指定管理者側からすれば、自分たちの収入に影響しますので20万円未満の修繕は減らしていきたいとの思いもありますが、お互いが話し合いながらやるべきところはやってもらい大垣市が直すべきところは長期スパンの中で直していく、ということで大きいものは大垣市が調査・工事を行い、指定管理者側では実施しておりません。
委　員	・直近でこれから大きくお金が掛かりそうなものはありますか。
所管課長	・外壁です。一部に亀裂が入っており、また、そこから水が染み込むという状況がありますので、調査を実施しております。
事務局	・そういった調査は大垣市が行います。例えば外壁の亀裂や雨漏りをしており小規模修繕を指定管理者が実施している、そういった話を聞く中で、何万円を何回もかけて行うのはおかしいから指定管理者には小規模修繕で1年2年やってもらい、その間に大垣市は計画を立てて改修をする、ということを各施設でやっております。
委　員	・駐車場の収入というのは非常に大きかったと思います。事業支出において使わなくても出ていくものがあるかと思いますが、何のコストがそれに該当しますか。人件費ですか。
所管課長	・管理する人の人件費です。駐車場のやり方としまして、事前精算をし、時間によって事後出てかれる方に無料の駐車券を渡すなどやっておりますので、そういった方の人件費が固定として掛かってしまいます。
委　員	・人件費というのは民間では償却できないという発想になりますが、何かその辺を機械化やシステム化によって改善する方法はないのでしょうか。
所管課長	・我々もそれが課題だと思っております。この改修に向けて内部で検討をしているところでございます。
事務局	・行革の観点から言いますと、人が時計を見て都度判断しているのは古い、おかしいという指摘をし、完全機械化を見据えてやっていく必要があるということを内部で検討しているところです。
委　員	・それがBCPの基幹の話だと思います。危機対策がBCPだって判断する方が結構多いですが、危機対策は危機対策であり、事業の継続化ということがベ

	ースにあるならば、何かしらの状況であったとしても売上を上げていくことや収益を確保していくということの施策が必要になると思います。その辺のところを、少し検討していただいた方がいいのではないかと思います。
委員長	＜経済部＞ ・商工観光課所管施設のBCPへの取り組みやコロナ収束を見据えた事業展開について報告を要請。
所管課長	※　所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。
委　員	・勤労者総合福祉センターについて、稼働率がそれほど高くないということで、コロナ禍の影響もあって減少しているとの報告でした。また、多少自主事業を拡充したとありますが、コロナ禍後の見通しについて計画していること等があれば詳しくお話いただけますか。
所管課長	・今回参加者は少なかったですが、回数の確保ができ、講座の内容についても参加者からは非常に内容が濃かったというような意見がありました。そのため、指定管理者の方からはまずまずな成果があったという言葉を聞いております。 ・今後に向けては、やはり老朽化しておりますので施設改修など十分に環境の整備をしつつ、安心安全に受講できるような体制作りも必要だという意見交換をしております。それに向けて、市としては長寿命化計画に基づき設備の修繕をしていくという方針です。
委　員	・前年度と比べて短いスパンでは成果が上がっている実感を指定管理者もお持ちだと思いますが、今後も自主事業を含めて講座等の充実を図っていくことで利用者増が図れるという見通しですか。
所管課長	・一番人気のリラックスヨガという講座がありますが、これをうまく繋いでいきながらやっていけたらな、ということを指定管理者から聞いています。
委　員	・各施設それぞれそのBCPへの対応や取り組みについて、マニュアル作成や計画を立てるなどして備えていると思いますが、実際にコロナの感染等が発生して実践をされたことはありましたか。
所管課長	・3施設ともコロナに関しては業務内容の確認などを実施しましたが、実際にコロナ感染が発生した施設はありませんでした。

委　員	・先ほどの勤労者福祉総合センターの老朽化が進んでいるという話に関して、報告書の中に3階ふれあいホールの室外機が故障してファンを交換しないといけないが部品がなくてできてないという報告がありますが、夏には間に合いましたか。
所管課長	・令和3年度に年間を通してずっと借りて頂いているところをまず第一番に優先して修繕しました。今年度3階も同じように修繕を実施し、問題なく利用者に使っていただいております。
委　員	・勤労者総合福祉センターですが、自主事業の寄せ植え教室について参加人数が増えたことはとてもいいことだと思いますが、収入に対して支出が多くなっている理由は何かありますか。せっかく増えたのに赤字になっていますので、参加費が安すぎて原価の方が高くなったという話なのでしょうか。
所管課長	・お値打ちにやれるということでしたが、おそらく価格設定が少し安く、広く多くというのが上手くできていなかったのかもしれません。
委　員	・小さな話かもしれませんが、こういったことの積み上げが最終的にプラスマイナスに影響してくると思いますので、この辺の改善を何とかお願いしたいと思います。 ・そもそも赤字予算ですので、ある程度これを凌駕するような事業の方略など少しでも収支均衡に近づけるような努力をしていただくといいのではないかと考えております。 ・職業訓練センターについて、2人の職員で運営していますがこれは大丈夫ですか。
所管課長	・BCPの対応についての部分でもありますが、有事のときには連絡が入り市からの応援体制でやるといったことを準備しております。今回連絡網もしっかり作りましたので、何かあった際は市からそういう対応していく体制です。
委　員	・結構厳しいかと思っています。2人だとできることも限られてくると思いますし赤字予算になっていますので、なんとか事業モデルを工夫できないかと見ていたところです。 ・公設地方卸売市場について、自主事業が組まれていますが予算に設定がないのはなぜでしょうか。

所管課長	・ハッピーマルシェなどのイベントは、企画・実施を行っているだけですので収入としてはありません。
委　員	・参加者がずいぶん多い自主事業ですので、どんどんやっていただければいいかと思います。 ・限られた人員で運営している施設についてはやはり少し心配に思います。その辺についての将来的なことは、ぜひ検討した方がいいかと思いますのでお願いをします。今般のコロナ禍では誰がどうなってもおかしくない状況ですので、その際に無理な労働など問題が出ないようにしていただくように思います。
委　員	・ハッピーマルシェの仲介が自主事業ではないということですか。
所管部長	・ハッピーマルシェなどの事業は市場の管理者として行っておりますが、収入としては個店それぞれの売り上げですので、指定管理者としての収入にはなっておりません。
委　員	・収入としては水産青果のお店としての売り上げということですか。
所管部長	・イベントは市の指定管理者の立場で企画・実施し、収益は一事業者の収益となっております。
委　員	・指定管理者の自主事業ではあるということですね。
所管課長	・はい。指定管理者として声をかけ、水産青果以外のいろいろな卸売りを巻き込んで一緒にイベントを実施しておりますが、個店の収入がどうなっているかはまた別の話になります。
委　員	・事業全体にかかる経費とかはないのですか。
所管課長	・はい。一部外から来る事業者もいますが、元々そこにいる事業者が販売するだけですので、外部も含め各個店が全部自分たちで持ち込んで実施しております。
委　員	・もったいない感じがしますよね。
所管課長	・買受人がたくさん買っていくのが本来の市場の機能となります。一般の方が自由に買ってしまうと、今度は各小売業や小売店、いわゆるスーパーや街のお店が売れなくなってしまいますので、あまり安くもできません。で

	すが市場を知っていただくということについて、PRとしては非常に効果があります。
委　員	・これだけの訴求力があれば、指定管理者としても何か事業として1本ぐらいあってもいいのではないかと思います。
所管課長	・工夫しなければいけないという話はしております。
委　員	・広報強化もされていますよね。住民として目にする機会が多いです。だから人も集まるだろうなと思います。
所管課長	・はい。水産青果としてSNSなど一生懸命やっております。
委　員	・今後の課題ということで、全体の収支に貢献するような形だと嬉しいですね。
委員長	・農林課所管施設のBCPへの取り組みやコロナ収束を見据えた事業展開について報告を要請。
所管課長	※　所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。
委　員	・三つの施設でBCPへの取組みについて、計画とかマニュアルなど体制を整えているかと思いますが、実際に発動せざるを得なかったことやコロナ感染等が発生したことはなかったですか。
所管課長	・はい、ありませんでした。
委　員	・コロナ収束後を見据えた事業展開について、3施設とも情報収集には努めているとのことですが、取り組まれたことなどはなかったですか。
所管課長	・昨年度も評価委員会でそういったご意見等を頂いて、何かできないかというような働き掛けはしてまいりましたが、指定管理者が自治会など地域の特定団体ということで、なかなかそういった新たな取組みというところまで至っておりません。
委　員	・一之瀬ポケットパークに関して、昨今どこの地域でも話題になっているキャンプなどのアウトドアブームと利用マナーですが、県内でもかなり苦慮して対策を取っているということがあります。こちらは規模もそこまで大きくないですが、人員配置も少ないのでこういった対応については啓発活

	動を今後進めていきたいとあります。これに関して、具体的に行政と連携して対応したことや実態を教えてください。
所管課長	・一之瀬ポケットパークは牧田川のちょうど河川敷に隣接した公園ですので、夏場などは河川敷でのバーベキュー等の駐車場替わりになっており、ゴミや空き缶などが散らばっていることもありました。そういった状況で地域の方が巡回しているということを聞いておりますが、なかなか思うようにマナーが行き届いてないということで、今のところ地道な啓発しか行っておりません。
委　員	・大きなトラブルもそこまでないということですか。
所管課長	・はい、一之瀬ポケットパークについては特にないです。
委　員	・屋内の施設よりはコロナ禍の影響が少ないと思いますが、全体的に稼働率の低さが気になるということは申し上げておきます。
委　員	・一之瀬ポケットパークについて、除雪費が結構多くなりましたが、例年と比べてかなり雪が多かったということですか。
所管課長	・はい。想定外の大雪で、例年に比べてかなり経費が掛かりました。
委　員	・例年はこの予算レベルで何とか賄える程度ということですか。
所管課長	・はい。これだけ除雪に経費を掛かったというのは、私の記憶の中でもありませんでした。
委　員	・利用料金収入がかなり厳しい状況ですが、何とかPRをして活性化していくことが大事かと思います。例えば教育委員会管轄のレクリエーション協会と提携・連携するなど、動員する方法というのは何かしらあると思いますので、少し横串を刺していくってことも一つあるのではないかと思います。 ・レクリエーション協会にも、自主事業の内容が弱いという指摘を先ほどしましたが、キャンプなどはおそらく得意な団体だと思いますので、ぜひそこと事業展開できればお互いウィンウィンになると思います。そういう関係を結ぶところはたくさんあるような気がしますから、その辺を少し考えてみてはいかがかと思います。
	＜企画部＞

委員長	・情報企画課所管施設のBCPへの取り組みやコロナ収束を見据えた事業展開について報告を要請。
所管課長	※　所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。
委　員	・昨今の情勢の後押しもあってニーズも増加していると思います。特にこどもICT学級にニーズがあることを把握しているということで、予想よりも申込みが多かったとのことですが、今後の見通しとして回数や参加者数の増加に向けた人員体制や施設の体制が図られると思っていいですか。
所管課長	・指定管理事業だけでいきますと、コロナ禍前である令和元年度の講座数は119講座で、大人も子供も含めて480人が参加しました。コロナ禍になってからの令和2年度は63講座で参加者数は441人と、講座数は減っていますが参加者数はそれほど落ちていません。それが令和3年度になると講座が開設できるようになりましたので、104講座開設して740人参加しました。講座自体の回数も徐々に増え、魅力ある講座を提供することで参加者数も増えてきておりますので、講座の魅力というのは高められていると分析をしております。
委　員	・人員や場所などの体制も今後も拡大することが可能ですか。
所管課長	・内容によって、教える側である指定管理者側も含め人の入れ替わり立ち替わりがありますので、よく連携して考えていきたいと思います。
委　員	・アンケートの中に新人研修の一環として受けたとありました。一定規模の会社は集合研修で依頼していると思いますが、中小企業だとそれが難しいということで、でも一方でそういった技術が求められてきている中で、こういう講座を新人研修に利用する傾向があるのかと思いましたがこれはたまたまですか。
所管課長	・中小企業などの職員研修というのは、地域企業の職員のICTレベルを高めるために商工会議所などが実施しており、そちらを受けていると思いますのでたまたまだと思います。
委　員	・BCPへの取組みについて、マニュアルの制定やハード面で施設レイアウトを変更するなど体制を整えているということですが、実際にコロナ感染等で何か実践しないといけない場面はありましたか。
所管課長	・イベント等の開催において発生したなどの報告は受けておりません。

委　員	・職員が感染したことで、体制をBCPに沿って変更する必要があったなどはありましたか。
所管課長	・ありませんでした。
委　員	・コロナ収束後を見据えた事業展開について、さすがだなあというのが感想です。やはり得意な分野でしっかり対応されていて、コロナが収束した後もバーチャル情報工房などやっていかれるのかと思いますので、本来の役目ではないのかもしれませんが、ぜひこのノウハウや機材を他の施設にも役立てていただきたいと思います。いろいろな施設の評価をしている中で、まだまだどうやっていいかわからずに立ち竦んでいる施設もあるようですので、例えば他の施設のスタッフの方とオンライン会議をやり、どんなことが施設サービスとしてできるのか情報ツール等を使ってアイディア出しや実践のアドバイスなどができるといいのかなと思います。
所管課長	・手段として考えているものとしては、指定管理者であるG・I・NETグループが西美濃ポータルサイトというホームページを運営しておりますので、それを使って他施設の様々な情報を発信できないかということは検討中です。 ・施設の機能を生かして他施設がどう活用できるのかという部分については、指定管理者とも共有し高い機能を他施設へ生かせるようなことを検討いきたいと思います。
委　員	・指定管理者の業務には含まれてないと思われますので、展開していけるよう市役所の方も一緒に検討していけるといいかと思います。
委　員	・私どもも一緒に解決策を考えていきましょうという立場ですので、それだけご理解をと思います。 ・集客に関しては非常に高い成果を上げたということでとても素晴らしいことだと思っておりますが、一方、減収補てんを1,563,000円受けています。参加者数が増えていながらも補てんを受けている理由はどこにあるのでしょうか。
所管課長	・指定管理事業は底辺を広げるという意味で実施しておりますので、受講料は無料や安価で開催しており、それが収入面でつながっていないのだと思います。指定管理事業ですので、指定管理料の中で費用を賄い人材育成の底辺を広げていくという趣旨となります。

委　員	・非常に重要な位置付けになっているのは理解をしております。ただ、指定管理料ありきの事業ではなく、指定管理料をどうやって削減していくかという視点も一つは持っていなければいけないのかと思います。収益性を上げるには非常に適した環境にあると思っておりますので、その辺の工夫が今一つ必要なのではないかと思います。細かく見ていって、指定管理者に指導いただくのが適正かと思います。 ・事業の中に参加者3名など少ない授業がありますが、講師料は一講座いくらでしょうか。
所管課長	・一講座いくらの契約で講師をお願いしているわけではありません。具体的な金額は今ありませんが、10人の定員に対して10人参加しても3人参加しても講座にかかる費用は一緒です。
委　員	・指定管理事業というものは自治体の方から依頼をしている事業という理解をしていますが、成立要件というのは規定しないのでしょうか。
事務局	・それはありません。その施設の中で様々な目的がありますが、例えばPRや収益を上げるという条件の中でこの事業は最低限やってください、という提案をするのが指定管理事業です。 ・自主事業は、指定管理者側から提案があり行政としてやるべきものかの判断をしたうえで、市側が認めるものです。
委　員	・成立要件を満たさない事業もあるのではないか、また、どうしても必要なものであれば必要だという成果が必要だと思います。民間的な発想でいくと成立要件を満たさないものはコストだけ出ていくという考えになりますので、これについての精査が必要だと思います。 ・例えばボリュームでこれだけ事業やってください、その代わりこれは払います、というやり方だと受け取っていますが、それが果たして適正なのかどうかも一度検討する必要があるかと思います。そうでないと、指定管理料ありきの事業がずっと続いていき、常に不足するというアピールのもと指定管理料を確保していくという形になりかねないと思います。 ・情報工房については再指定の際にお話をしたと思いますが、ちょっと不安に思った記憶があります。 ・BCPの話をしたときに、災害対策としてはいいですが事業の継続を前提としていくはずのものであり、例えばアルコールやマスクなどはやっていく必要ありますが、いわゆるそのリスクをきちんと管理して、それでありながら事業を継続して行う必要があるという話をしたと思います。 ・問題は前年度と今年度はどのように改善をしたのかです。前年度はコロナの対策について話をして終えたと思います。それでいて、それが次年度ま

	で継続するかどうかの確信はなく、おそらく事業継続ができていくまたは新しいことができていくという発想での話だったと思います。ただ、継続してコロナ禍という形になってしまいました。そのときに、結局補てんをしなければいけなくなったということに若干の危惧をしています。 ・関連部局からきちんと指導いただいた方がよいかという気がしますが、ありきの話ではないと、不足したからといってなんでも補てんするという話はないということをきちんと認識していただく必要があると思います。他の事業でもいくつかそういう話をさせていただいています。 ・公共事業という理解のもと、皆さん一生懸命やっていることは理解していますが、お金を生み出してもらい将来的に指定管理料を削減していくというのは、自治体の立場としてはどうしても避けられない方向だと理解をしていますので、今の段階で、例えば指定管理料の削減の方向性は何か考えていますか。
所管課長	・事業をやっても収入面が上がっていかないという指定管理事業の性質はあるかと思いますが、一方で収支を見ておりますと、電気等の光熱水費が昨年度から影響を受けております。施設を開館するだけで、光熱水費がもともと見込でいた指定管理者側の計算よりも必要になっているというのが去年の冬でも現れており、今年度も話が続いています。
委　員	・それは比較的固定的なものではなく、変動費、大きく変動するものなのですか。
所管課長	・変動しており、今高止待っている状態だと思います。
委　員	・そうであれば、逆に予算に反映しておく必要があるということですね。 ・事業構造をこれから少しずつ見直していきながら指定管理料削減の方向性を見出していくことの意識を、自治体だけでなく指定管理者側も認識をしてもらいながらいかないとどこかで厳しくなると思います。 ・総合計画にあるような本来大垣市としてやらなければいけないことは、どんどん削減されていってしまう可能性があるかと思いますので、その辺について指導をしていく必要があるというのが正直な考えです。 ・一つ一つ見ていくと成立要件を満たさないものは、やめるのではなくできるだけ形や対象を変えるなどの工夫ができると思います。 ・先ほど極めて優秀な事例があり私も正直驚きました。条例を改定してまで利用料金を変えて収益性を確保するという、非常に画期的なことをやっていたところもありました。ですから、新しい時代をどうやって作っていくかを皆さんで考えていく必要があるかと思います。

委　員	・研修をオンラインで対応するなど上手くいっているところもあれば、指摘の通り参加者数が少ないところもあるので、見直しをしていくべきかと思います。
委　員	・悪いということではないのですが、今後のことを考えるとおそらく曖昧模糊としている部分があるような感じがしますので、そこをもう少し官僚側としてついていった方がいいのではないかと思う次第です。 ・可能性は非常に高いと思います。稼げるところは稼いでいくというのが今般の行政のあり方かと思いますので、それからすると先頭を切っていける事業という位置付けで考えております。その辺を少し検討いただければと思います。
	＜健康福祉部＞
委員長	・社会福祉課所管施設のBCPへの取り組みやコロナ収束を見据えた事業展開について報告を要請。
所管課長	※　所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。
委　員	・施設の性質上、牧野華園はじめコロナ禍でその目的が果たされるのが大変ご苦労されているだろうと思います。そういう意味では限りなくできることを追求されていると推察しますが、具体的にコロナに関わる大きなトラブルなどありましたか。
所管課長	・牧野華園に関しましては、生活保護法に基づく救護施設であり、新型コロナが拡大して以降も施設の役割上、大垣市以外から入所する方もみえます。様々なところから入所されますが、やはりクラスター等が発生すると非常に困難を極めますので、ご本人に了解をいただいた上で3日～5日程度、皆さんと離れた別室で生活をしていただき食事も別で取っていただいて、大丈夫ということが分かれば集団生活の方に入っていただくなどの方法を考えています。 ・非常に大きなトラブルということは聞いておりませんが、運動不足ということもありますので、卓球が好きな人が多いことから少人数で少し卓球をして汗を流していただいたということは聞いております。
委　員	・別室で過ごされることに関して人員体制はどうですか。
所管課長	・それによって人員増はせず、現有体制のまま対応しております。
委　員	・施設の性質上オンラインなどではなかなかできない、全て対面での対応と

	いうことで、ずいぶん神経を使って運営がされていることを想像して頭が下がる思いですが、コロナ終息後を見据え、今回の経験を参考に何か新しい取り組みや継続していきたい取り組みは何かありますか。
所管課長	・牧野華園を例にしますと、新型コロナウイルスに対して非常に警戒感を持っておりますので、なかなかコロナ禍前の状況に戻すのが非常に難しい状況であります。しかし、ウイルス自体がだいぶ変わってきておりますので、感染対策をしっかりした上で外出活動や買い物活動など元に戻していきたいと思っています。 ・コロナ禍においても、例えば総合福祉会館においてWi-Fiなどを活用したオンラインの研修会やオンラインでの行事などは、コロナ禍前までは実施していなかった新たに始めたものですので、今後積極的に取り組んでいきたいと思っております。
委　員	・Wi-Fiを活用した活動もやっているのですか。
所管課長	・Wi-Fiについては、総合福祉会館に来月ぐらいには設置して実施していく予定です。
委　員	・今総合福祉会館などを利用している団体の方たちにとっては、Wi-Fiがあれば活動の幅が広がるのかと思います。
委　員	・非常に苦心されているという印象を持っています。利用料金収入が厳しい状況の中で、支出を限りなく抑えて収支均衡に向けていくという努力は非常に大変だと思いますが、逆にこれにより何かを我慢しなければいけなくなっていることや何か支障をきたしているということはないでしょうか。
所管課長	・牧野華園を例にしますと、収入は少し減っているのが現状ではありますが、それによって運営上何かを我慢してもらい、施設側の運営経費を削っているなどといったことはありません。 ・牧野華園という救護施設は入居者が多く入れば収入も多くなります。入居者がどんどん増えていくことが良いことかといえばいろんな論点があるかと思いますが、今のところ入居者も少しずつ増えていますので、今年度は収入が多くなっていくと思われます。
委　員	・メンテナンスなどの維持管理項目が非常に多くなっています。施設の今後を考えたときにもっと増えていく見込みなのでしょうか。
所管課長	・経年劣化とともにいろいろ修繕をしなければいけないと思いますので、長

	期計画を作って計画的に行っていきたいと思っております。
委　員	・根本的に駄目になりそうなものや多額のコストが掛かりそうな問題がこれから控えていることはありますか。
所管課長	・外壁改修やエレベーター工事など専門家の意見を聞きながら、財政の問題もありますが長期計画を作って少しずつ修繕をしていきたいと思っております。
委　員	・牧野華園の自主事業について、緊急一時保護という項目がありましたがこれはなんでしょうか。
所管課長	・事業の内容としては、県から委託を受け、牧野華園が生活保護法の施設というより、母子でDV被害にあわれた方に対して一時保護をするというものになります。
委員長	・障がい福祉課所管施設のBCPへの取り組みやコロナ収束を見据えた事業展開について報告を要請。
所管課長	※　所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。
委　員	・利用者と家族のストレスケア、負担低減というところでかなり苦労されていると思います。それに関連して、逆に指定管理者側から行政に対して実態に基づく要望もしくは要望までは至っていなくても大きな課題があれば教えて下さい。
所管課長	・クラスター発生に注意し、現場の職員は本当に第一線で毎日気を使いながらやってくれていたというのがありますので、ストレスケアを何かしないといけないと思っておりました。 ・市側に保健師が4名おりますので、ストレスケアのミニ講座や相談会などができないかと思いましたが、現場の方はかえって今そういったことに時間を取られる方が辛いという現状でした。 ・そこで、まずは物資の運搬などは施設側だけではなく障がい福祉課も一緒に運ぶなど、なるべく事務方でできる手間は行政でやるなどしました。 ・また、時間を設けませんが第三者に相談したいような不安なことや相談ごとがあれば、遠慮なく担当課にかけてもらうような対応を取っており、1件ですが実績もあります。
委　員	・いろいろと苦労されており、大変なことだと思っています。そういう対応

	を日々重ねながらやっていく中で、コロナに限らないのかもしれませんが、コロナ収束後を見据えた事業展開について今後の新しい取り組みに役立ちそうなことなどがもしあれば教えて下さい。
所管課長	・かわなみ作業所では、オンラインでの販売について取り組みを実施しております。 ・また、柿の木荘かわなみ作業所共通して、施設で暮らしておりますので集団行動というものが今までメインで考えておりましたが、コロナを契機に小規模での人数で、密にならない生活というものにいろいろな行事も切り替えていこうと考えております。 ・例えば、お出かけというのも施設のみんなが一斉に出かけるのではなく、班体制や作業グループ体制の少人数で密にならない場所を選んで出かけていく、その際には施設利用者の自主性を重んじるという取り組みに切り替えております。
委　員	・利用者の方たちの反応などはよさそうですか。
所管課長	・はい。好きな食べ物を実際に写真や動画を見て選んでもらい提供するというのも実施しており、利用者の方には非常に好評で、保護者の方にも好評であると聞いております。
委　員	・そうするとコロナ終息後もそういった個々の好みや生活リズムに合わせたスタイルに変わっていけそうということですか。
所管課長	・はい。コロナ終息後も引き続き手洗いなど今日常生活でやっていることは継続していきながら、実情に応じた活動に切り替えていこうと思っております。
委　員	・人員がとても心配な感じがしております。これは不足している不足していないということではなく、アクシデントというのは常に起こりうることですので、そのときに対応できるようになっているというのは大変なことだと思っておりました。 ・BCPの理解と対応については申し分ないと思いますので、継続して安全に進めていただくようお願いしたいと思います。
委員長	・高齢者福祉課所管施設のBCPへの取り組みやコロナ収束を見据えた事業展開について報告を要請。
所管課長	※　所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。

委　員	・高齢者スマートフォン講座について、スマートフォンを利用したからといって社会的孤立を完全に防げるかと言ったら対面交流に勝るものはないとは思いますが、とはいえ外出が制限されたりする中でそうした取り組みを含めてケアされていることは、とてもいい取り組みだという感想を持ちました。 ・コロナ禍に伴う無理な体制やニーズの高度化に伴って、何か行政からの支援などがあれば教えて下さい。
所管課長	・コロナ禍における体制については、入所施設のためコロナの影響による利用者の増減というのはありませんので、今まで通りの事業運営を行っておりますが、やはりスタッフの発熱などの事象というのは多くあり、その都度指定管理者と連絡を取り合ってサービスの低下を招かないように進めております。取り立てて、施設が回っていかないというような事象はありませんでした。
委　員	・コロナ禍での運営は大変かと思いますが、今回施設でのクラスターやコロナ感染の発生等は特になかったですか。
所管課長	・ありませんでした。墨俣デイサービスセンターで2日間だけ臨時休業した程度で、施設自体はそれぞれつつがなく運営しております。
委　員	・職員の方に支障は出なかったですか。
所管課長	・はい大丈夫です。安全を期して消毒等を一斉に行い、また、利用者の体調管理についても、利用実績から発熱確認を行った上で運営開始としております。
委　員	・コロナ収束後を見据えた事業展開について、買い物代行や1日2回のラジオ体操実施、各行事を少人数のグループに分けて開催するなど、いろいろと工夫して取り組みをしておりますが、利用者の評判がいいなどコロナ後も継続した方がよさそうなことはありますか。
所管課長	・例えばお勝山ふれあいセンターという複合施設ですと、養老華園と養老華園デイサービス、ケアハウスそしてかたらいプラザ、こういった施設の利用者の皆さんが集まり、地域の方を招いてクリスマス会や七夕まつりあるいは夏祭りを開催しておりましたが、こういったものが一切ストップし、それぞれの施設で小規模で開催しております。やはり祭りなどは大きく実施した方が楽しいと思いますが、感染状況などコロナの状況を見つつ、し

	っかり見極めながら進めていきたいと考えております。
委　員	・上石津デイサービスセンターと墨俣デイサービスセンターの財政収支は、予算の段階からマイナスですが、どうしようもないという状況ですか。
所管課長	・例えば上石津デイサービスセンターについて収支だけを見ますと、令和3年度は300万円ほどマイナス、令和2年度も同じくらいマイナス、令和元年度は少しプラスとなっております。要因としては、一つはスタッフが少数ですので年齢層の高いスタッフが行くと人件費上がってしまうことです。 ・もう一つが利用者の構成割合によるものです。実は令和3年度の利用者数は前年度より増えていますが収入は減少しています。これは要支援2や要支援1という、いわゆる介護報酬が比較的低い利用者の増加だけにとどまっており、前年度を超えることができないためです。しかし、上石津はもう利用が限定されておりますので、この構成割合によって収支が影響されやすいという分析として把握しております。
委　員	・民間のデイサービスで競合するところはないのですか。
所管課長	・ありません。
委　員	・上石津老人福祉センターと墨俣老人福祉センターについて、自主事業実績一覧には記載がありますが自主事業の収支は0となっています。これは、例えば何か実施するにしても、講師や指導者が必要だということであればコストだけは出てくるかと思いますが、お金が動いていないというでしょうか。
所管課長	・例えば食事代などあるかと思いますが、それらも含めて指定管理事業収支の方に出てしまっています。
委　員	・自主事業の項目に入っているのであれば、自主事業収支に反映させてもいいかと思います。
所管課長	・一体の事業としてやってしまっていますので、なかなか難しいかと思います。
事務局	・例えばよく言われるのは、人件費などは分けづらいですし消耗品ではボールペン1本だけ購入したのが自主事業と言うのも難しいので、確かに課題ではあります。 ・今回、指定管理事業収支と自主事業収支を明確にしようということで、そ

	れぞれを分離した表に変更しましたが、他の課も含めやはり人件費などをどのように分ければいいのか、という部分が課題として残っているのが事情です。ご指摘の通り、自主事業を実施しているのに収支が表れてないのはおかしいですが、一方でどのように分けるのかが難しいところです。
委　員	・何らかの形で上手く反映させることができないかですよね。
事務局	・将来的には自主事業で儲けてもらい、指定管理料を減らしてもらうのが本意の部分ですので、まずはもちろん赤字はいけませんが最低限プラスマイナス0にして、お金だけではないPRやプライスレスの部分をしっかり自主事業でアピールしてもらい、それが指定管理者選定におけるアピール部分にもなってくると思います。それは行政管理課と原課とでしっかりやっていきたいと思います。
委　員	・いずれにしても実態が正確に把握できることが大事かと思います。そうでなければ良かったのか悪かったのか判断がつきません。やったことは素直に評価していく必要があると思いますので、上手く反映できるよう工夫をしていただければと思います。
	＜こども未来部＞
委員長	・子育て支援課所管施設のBCPへの取り組みやコロナ収束を見据えた事業展開について報告を要請。
所管課長	※　所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。
委　員	・コロナ禍で様々な制約がある中でも対面の活動が不可欠な施設・事業であると思いますので、かなり苦労されているだろうと思いますし大きな事故もなく運営されてきたのかと思いますが、施設の管理者側から行政に対して、コロナ禍におけるいろんな要望やまた行政の方から積極的に支援した面などの実態を教えて下さい。
所管課長	・利用者からのニーズとして、自分が働いている関係上昼間の時間ではお子さんを連れていくことができないため、時間外のような形を希望されることがあります。個別の対応であればいいのですが、グループで療育する場合だとそちらのお子さんだけではありませんので、全員の時間帯をずらないといけなくなります。そういったことに対しどう対応したらいいかという課題があると聞いております。

委　員	・今後共働き世帯が増え療育の需要も表面化してくる中で、そういった具体的なニーズも増えてくると思いますが、対応について何か検討していますか。
所管課長	・土日や夜などの時間外の対応はなかなか難しいとこともありますので、どうしたらいいのかひまわり学園の方でも検討しているところです。
委　員	・集団での療育の場合は難しいかもしれませんが、個別での面談等でオンラインなどを活用することも可能かと思います。まだそこまでは対応されてないということですが、今後何か検討する予定や検討中のものはありますか。
所管課長	・そこまでは至っておりません。相談等は電話等で受けておりますが、療育まではなかなか進んでおりません。
委　員	・なかなか電話では療育まではいけないかもしれませんが、せっかく保護者への連絡ツールとしてLINEを導入されたので、オンラインで顔が見えるなどはLINEの機能を活用するといいのかと思います。コロナだからではなくコロナ収束後も見据えて、先ほどの働いている親御さんへの対応にも使われるなど、LINEの導入をきっかけにさらに進めるといいのではないかと思います。
委　員	・アンケートを見て、極めて評価は高いなという印象を持っています。 ・今後について、新しい施設ではないので何かしら工程を入れながら進めていく必要があると思いますが、例えば何か施設機能を追加したいなど要望などはないでしょうか。
所管課長	・建て替えを予定しており、令和4年度令和5年度で建てて令和6年度から新たな施設で療育をしていこうと思っております。 ・その際、今までなかった機能訓練室という部屋を設け、訓練の都度準備をすることなくすぐに療育に取り掛かることができるようにする予定です。 ・また、保護者の方に療育の様子を見ていただきそれを家でも実践してもらう施設ですので、新たに観察室という部屋も設け、マジックミラー越しにお子さんの様子を見ていただき療育の仕方を身に付けることで、家でも実践していける療育につなげていきたいと思っております。
委　員	・新しく建て替えということであれば、今までになく新しく欲しい機能を盛り込んでいくことが必要だと思います。人員的にはどうですか。

所管課長	・社会福祉事業団の方でしっかりと確保していただいており、今のところ十分足りているようです。
委　員	・先生に対しての評価は結構高いので、非常に熱心にやっているのだろうと思っております。環境が良くなり先生に熱意があればいい施設になると思います。もう計画は具体的に進んでいるのですか。
事務局	・コロナの影響を受け、木材の単価が上がるなどしたため少し契約が遅れましたが、計画は進んでおり今年工事に入ります。形も場所も決まっており、規模と人数の方が現在のものよりも増える予定です。
委　員	・それはとても素晴らしいと思います。 ・事業については、収入に対して支出を何とか抑えたいというのもよく見えています。とはいってもいろいろな限界があるだろうという感じがしますので、どこまでが許容範囲なのかもよく見ていく必要があると思います。 ・我々はまだどこまでが許容範囲でどこまでの赤字が妥当なのか正直正確にはつかめていませんが、その辺と事業の全容が見えて改善点が出てくれば、どの辺をどうすることによってある程度改善できるかという形が見えて来ますので、できればそういうものが明確になるようにしていくのがベストだと思います。 ・どうしてもこういう事業というのは、曖昧な部分や被さっている部分などなかなか正確に判断できないところがありますので、それを少しでも数値によって示せる部分を多くしていき、効率よくできるような形を目指していくのがベストだと思います。
	＜都市計画部＞
委員長	・公園みどり課所管施設のBCPへの取り組みやコロナ収束を見据えた事業展開について報告を要請。
所管課長	※　所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。
委　員	・BCPへの取り組みについて、職員の方のコロナ感染があったということですが、実際にBCPに基づいて対応し問題なく乗り切れたということですね。
所管課長	・はい。窓口業務において電話予約を優先すべく、職員の配置替えなどいろいろ行いローテーションを組み直すなど業務を継続できるようしました。
委　員	・緑の村公園は特にそうですが、屋外施設なので利用者も結構確保できたということですね。

所管課長	・公園関係ですと、時期的には4～6月が前年度と比較し特に利用が増えている状況です。その後、一番稼ぎ・集客の良い9月に緊急事態宣言が出ましたが、それを含めてもやはり全体的にプラスになっています。冬場についても、特に雪が非常に多くそういった天候の影響でキャンプなどが減りましたが、やはり利用者的にはプラスになっております。
委　員	・ぜひいい流れを続けて行ければと思います。 ・一方で奥養老の方はどうしても宿泊施設のため、反対にすごく利用が限られてしまっているという理解でよろしいですか。
所管課長	・奥養老については、前回も学校関係などいろいろお話があったと思います。そういった関係で学校に対しお話をしておりますが、やはりコロナ禍ということで芳しくはありません。 ・令和3年度の新規3件については、県外もしくは市外の学校となります。令和2年度にホームページを更新したお話をしたかと思いますが、それを見た中で3校ぐらいは宿泊研修をしたということになります。 ・市内の学校については、1日での利用となる遠足に変わってきたということで、宿泊の方はなかなか難しい状況です。そこの人数が復活してくればというのもあり、学校関係と調整をしていく中で、少しずつですが公園の方を利用していただくなど順番に利用者数を復活させていきたいと考えております。
委　員	・その市外から3校増えてよかったと思います。
所管課長	・前までは遠足含め利用が全くない状況でしたので、ホームページを更新し、県外も含めた新たな学校が3校も増えて宿泊もしたというのは、指定管理者の努力もあったと思っております。
委　員	・残念ながらこの田舎体験ツアーというのができなかったようですね。
所管課長	・はい。令和3年度の体験ツアーとしては、初日がカミツレを取る体験、夜は宿泊施設を利用しながらバーベキュー、次の日は米の田植を体験するというツアーです。3家族11名の応募がありましたが、コロナ感染拡大に伴いどうしても中止という形になったと聞いております。
委　員	・収支予算には挙げていませんが自主事業ですか。
所管課長	・はい。令和3年度は、キャンプ事業の予算上が0円ということで明記をして

	ありました。令和4年度は予算を上げております。
委　員	・計画を立てているのであれば、予算も少し考えて上げていけるといいと思います。
委　員	・近年のアウトドアブームを上手く使うというのも大事だと思いますが、やはり学校というのはブームと関係なくニーズが確保できる可能性があると思います。旧大垣市内のこどもにとって、上石津はかなり離れた地域であり十分遠足の距離だと思いますので、ウィズコロナは遠足、収束後は合宿形式など学校教育課等と連携を図り、大垣市内の小・中学校の利用を促進していければいいのではないかと思います。
所管課長	・令和3年度は学校教育課と連携し、上石津4校と荒崎・川並・綾里・日新小学校の遠足で来ていただき、延べ152人が利用しました。 ・昔ですと11校ぐらいあり、そこまで回復するのは難しい状況ではありますが、連携しながら少しでも使ってもらえるような努力を引き続きしていきたいと思います。
委　員	・実績に関しては申し分ないと思っています。緑の村公園の指定管理業務の事業収支について、決算ではプラスになっていますが予算が赤字になっています。赤字予算を組んだ理由は何だったのでしょうか。
所管課長	・指定管理業務ではマイナスですが、自主事業も含めたトータルではプラスマイナス0の予算となっております。
委　員	・できれば自主事業は利益確保に動いて欲しいということで、基本指定管理業務は収支プラスマイナス0になるのが通常ベストだと思います。
事務局	・コロナ禍での予算ですのでどの施設もそうですが、どうしても指定管理施設の収入が読めなかった部分が多々あると思います。半分から半分以下に落ち込んでいた収入が今7割8割まで戻ってきているというのがどの施設でも言えることですが、おそらくコロナ禍前の全額まで戻りきらないという予算化をしている部分で、やむを得ずマイナスだったというのが実情じゃないかと思います。
委　員	・昨年度民間企業との連携の話が出ていた気がしますが、どうなりましたか。
所管課長	・引き続き協議をしている状況です。ただし今年度については、そういった民間企業とタイアップして何かイベントができないかと考えており、例え

	ば緑の村公社と地元地域の団体とタイアップして実施しているものを、今度はそういった企業にも入っていただき、人を集めて多少なりとも利用してもらえるような形でのイベント実施など、先にそちらの方をお話している状況です。 ・今コロナ感染者数が増えてきている中でそれを実施していいのかもちょっと難しい状況ですが、10月くらいを目途に進めており、そういった企業とタイアップしながらのイベントを考えています。
所管部長	・まずイベントを1回実施してみて、今後の進出といいますか、出てきてもらえるような形に繋げていけるのではないか、ということで今考えております。
委　員	・動員力のある団体として青年の家を管理運営しているレクリエーション協会がおそらく一番得意な分野ですので、そこに営業をかけた方がいいかと思います。そこに事業やってください、企業とタイアップしてやってくださいと協議していけば、おそらくトリプルwinになると思います。
所管課長	・すぐには中の施設をどうのこうのというわけにはいきませんので、どういったものができるかについていろいろな企業の力を借り、公園として魅力あるものにしていきたいということで、まずイベントなどで集客をして、公園にはこういうものがあるというのをPRしていきたいと思います。
委　員	・指定管理者の中でも動員力のあるところがありますので、ぜひ横のタイアップをしながら相乗効果を上げていくといいのではないかと思います。 ・この厳しい中できちんとプラスにしているのは、やはり素晴らしいことだと思って拝見をしています。 ・今までに大垣市の中では考えられなかったような、外との関係を作っていくことや事業を立てていくことを考えてもらえればいいかと思いますので、ぜひよろしくお願いしたいと思います。
委員長	＜委員会評価結果の総括＞ ・評価結果の総括の確認を依頼。
事務局	※　総合評価結果（報告）の素案の確認。 ・BCP（業務継続計画）への取組みについて ・コロナ終息後を見据えた事業展開について ・今後の施設運営に向けての要望事項について

委員長	・意見はありませんか。
委　員	・資料を見ても、我々がきちんと判断できる資料に整備をしてあり、本当に素晴らしく改善をされてきたと思います。 ・ここまでは段階を追って考えてみると、いわゆる数字の管理の仕方が非常に杜撰であったというスタートから、まずはその辺を皆さんで一生懸命フォーマットを整えていき、数字の整合性をきちんと取っていただいて、いわゆる行政経営というような視点で物事を見ることができるようになってきました。 ・こちらとしては数字に対してかなりシビアに突っ込んできた経緯がありますので、やはり収益性ということを3、4年ぐらいかけてずっと言い続け、それも数字に反映されるようになってきました。これも非常に大きい成長だと実感をしています。であれば、これから我々は何をしなければいけないのかになりますが、やはりきたるべき危機的な状況のために全体のカルチャーを少しずつそっちへ向けていく必要があると思います。ですので、今日も話の中で度々出しましたが指定管理料を削減する努力というものを求めていく必要があると思います。 ・削減できるかどうかは別として、削減していく努力をしながら行政の財政を健全化していく作業に入る必要があると思います。本会はそのためにもある仕組みだと思いますので、できれば一度組長などと話をしっかりさせていただいて、その方針を一つにした上で進める必要があるかと思っています。ですから、今度は目標値を定めその目標値に対して向かっていく努力を求めていく必要があると思います。 ・また、話の中でも度々出しましたが、BCPに関しての理解が全然違っている人が多いのでBCPの定義を一度整理する必要があるかもしれないと思います。そして、次年度に行う事業の評価ないしは選定に関して同じ視点で各部局の方に見てもらうことがまず必要かと思います。BCPについて皆さんお話がありましたが、やはりエポックメイクな話が多かったです。ですから、こういうことに注意してこういうことをする、というのはいわゆる災害対策と一緒だと思います。 ・事業の継続をどうするのかというところに言及されなかったことに関しては、やはり改善の余地があると思います。それができた施設は、非常に大きな成果を上げたというふうに私は今回非常に強いコントラストを感じましたので、その辺は非常に高く評価できると思う反面、それをやはり統一していく必要があるということを、お話をしながら感じました。そこを行政管理課の方から、各部局に対してまたは指定管理者に対して、BCPというのはこういうものだということの理解を一度統一してもらう必要があるかと思います。それによって本来継続していかなければならない事業、最優先しなければいけない事業、収益に関してはどこまでを確保しな

	ければいけないのか、などを見定めていくというのがこれからの評価になると思います。 ・それを強く感じましたので、次のステップといいますか次のフェーズに入っていくところまでは、皆さんのご尽力で来ただろうというのが正直な感想です。私の方からは以上です。
事務局	・委員の皆様には、ご意見・ご指摘を賜り、ありがとうございました。それでは、以上で令和4年度指定管理者評価委員会を終了いたします。委員の皆様、どうもありがとうございました。 ※　閉会（終了時刻：午後3時25分）